

久里浜こころのケアチーム  
第31班活動報告

# 派遣の概要

期 間：平成23年10月 4日（火）  
～10月 7日（金）

派遣地域：岩手県大船渡市

（活動地域：末崎地区、大船渡地区）

メンバー：多田 光宏（医師）

福岡 透（看護）

桑田 美子（心理）

秋原 尚子（事務）

# 1日目のスケジュール

移動：9時半 東京発→12時半 水沢江刺着  
車にて大船渡へ

15時過ぎ 大船渡合同庁舎にて  
(カルテ出し、翌日以降の打ち合わせ)

16時～

市内の関連各署（大船渡市役所、保健介護センター、県立大船渡病院）を確認し、大船渡市と陸前高田市の最近の様子を視察

ここにも人々の歴史が刻まれていたはず。  
復興への道のりは今もまだ、続いています。



# 2日目のスケジュール

〔午 前〕

- ◎ 末崎地区 継続ケースの訪問（3件）

〔午 後〕

- ◎ 担当保健師へTELにてアルコールケースのコンサルテーション（1件）
- ◎ 大船渡地区 継続ケースの訪問（1件）
- ◎ 市役所にて申請書類提出
- ◎ 必要物品購入
- ◎ 16：30～ 定例ミーティング参加
- ◎ 報告書類の作成

# 定例ミーティングの1コマ



# 3日目のスケジュール

〔午 前〕

- ◎ 大船渡地区 継続ケースの訪問（1件）

〔午 後〕

- ◎ 12時半 合同庁舎にて

10月より、災害担当として県立大船渡病院に着任された精神科医との情報・意見交換を行う。その際、次週から水曜の定例ミーティングへの参加を推奨。

- ◎ 13時～ 毎週木曜日の「こころの相談室」を開設予定通り3ケース（新規1件、継続2件）に対応。

# こころの相談室 外観



# 相談室について

- 相談件数は3件（同行者を含め 延べ5名）
- 定期的に相談に来ている方が多い。



震災のみが要因ではないと思われるような、かなり深刻なケースも見受けられた。

継続して相談室に来ていただくことで、経過を追って様子を見ていくことができる。

# 4日目のスケジュール

- ◎ 第31班 活動最終日に当たり

相談記録等 提出書類の作成

ファイル整理

次の班への引き継ぎ事項の整理

車内整理（配布資料や記録用紙等の整理）  
を行った。

- ◎ 14時過ぎ 車にて大船渡から移動

17時過ぎ 水沢江刺発、東京にて散開

# 活動を通じて

- ◎ 10月より、県立大船渡病院に災害担当の精神科医が着任されたことにより、今後、大船渡市における連携体制の円滑化が期待される。
- ◎ 問題意識の希薄なアルコールケースへの対応として、保健師チームに対し、専門医療機関として今後どのようにバックアップしていかれるのか。タイミングをとらえたコンサルテーションの重要性。
- ◎ 地域性として、近隣の医療機関（精神科）には足が向きにくい傾向にあることを踏まえ、地元医療へ繋げてゆく橋渡し役としての「こころのケアチーム」の機能を再認識。

これからは、ケアするスタッフの  
ケアも必要



被災地の1日も早い復興を  
心よりお祈りしております

